

●特集1. 「平成30年北海道胆振東部地震」

(1) 概要

2018年9月6日03時07分に胆振地方中東部の深さ37kmでM6.7の地震が発生し、北海道厚真町で震度7、北海道安平町、むかわ町で震度6強を観測したほか、北海道から中部地方の一部にかけて震度6弱～1を観測した。気象庁はこの地震に対して、最初の地震波の検知から7.3秒後の03時08分12.6秒に緊急地震速報(警報)を発表した。この地震は陸のプレート内で発生し、発震機構(CMT解)は東北東-西南西方向に圧力軸を持つ逆断層型である。その後、この地震の震源を含む南北約30kmの領域を中心に地震が発生している。今回の地震の発生以降の地震活動は、過去に内陸や沿岸で発生した同程度かそれ以上の規模の地震に比べてやや活発である(図2-10参照)。

この地震により、死者41人、負傷者691人、住家全壊394棟、住家半壊1,016棟などの被害を生じた(10月5日18時00分現在、総務省消防庁による)。

気象庁は、この地震及びその後の一連の地震活動について、その名称を「平成30年北海道胆振東部地震」と定めた。

札幌管区气象台、室蘭地方气象台及び旭川地方气象台は、震度5強以上を観測した震度観測点及びその周辺を中心に気象庁機動調査班(JMA-MOT)等を派遣し、震度観測点の観測環境が地震によって変化していないかどうかの確認、及び震度観測点周辺の被害や揺れの状況が気象庁震度階級関連解説表と整合が取れているかの確認のため、被害状況調査を実施した。また、地方公共団体の防災対応を支援するため、札幌管区气象台、仙台管区气象台、名古屋地方气象台及び前橋地方气象台は北海道庁、室蘭地方气象台は胆振総合振興局に気象庁防災対応支援チーム(JETT)を派遣した。

「平成30年北海道胆振東部地震」による被害状況を表1-1に、震度1以上の最大震度別地震回数表を表1-2に示す。

表1-1 「平成30年北海道胆振東部地震」による被害状況
(2018年10月5日18時00分現在、総務省消防庁による)

都道府県名	人的被害			住家被害			非住家被害		火災 件
	死者 人	負傷者		全壊 棟	半壊 棟	一部 破損 棟	公共 建物 棟	その他 棟	
		重傷 人	軽傷 人						
北海道	41	17	674	394	1,016	7,555		2,110	2
	札幌市 1			札幌市 57					
	苫小牧市 2			江別市 1					
	厚真町 36			千歳市 1					
	むかわ町 1			北広島市 14					
	新ひだか町 1			厚真町 192					
				安平町 107					
				むかわ町 22					

表1-2 震度1以上の最大震度別地震回数表(2018年9月6日03時～9月30日)

時間帯	最大震度別回数									震度1以上を 観測した回数		時間帯	最大震度別回数									震度1以上を 観測した回数	
	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	回数	累計		1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	回数	累計
9月6日 03時以降	72	34	16	6	1				1	130	130	9月19日	1	1								2	261
9月7日	22	8	7	2						39	169	9月20日										0	261
9月8日	10	9	1	1						21	190	9月21日	2		1							3	264
9月9日	13	3		1						17	207	9月22日	1									1	265
9月10日	7	6	1							14	221	9月23日										0	265
9月11日	3	4	1	2						10	231	9月24日		1	1							2	267
9月12日	3	2		1						6	237	9月25日	1									1	268
9月13日		1	2							3	240	9月26日	1									1	269
9月14日			2	1						3	243	9月27日	1	1								2	271
9月15日	3	3								6	249	9月28日	1									1	272
9月16日	3									3	252	9月29日			1							1	273
9月17日	4			1						5	257	9月30日	3			1						4	277
9月18日		2								2	259	総計	151	75	33	16	1	0	0	0	1	277	277